#### LAN 対応版 導入時の注意点

O各PCのコンピュータ名は、全角文字を使用しないようにして下さい。

Oサーバー管理機能を、Windows 7 または 8 、Server 2008、Server 2012 にインストールした場合、サーバー管理機能の共有フォルダの設定を行う必要があります。

- ・サーバー管理機能の共有フォルダを手動設定します。
- 手順1)[スタート]メニューの[コンピュータ]をクリックします。
- 手順 2) [C:¥Program Files¥HwSvr]フォルダを右クリックしてメニューを表示して、[プロパティ] をクリックします。

(64 ビット版OSの場合は[C:¥Program Files (x86)¥HwSvr]フォルダ)



## 手順3)[共有]タブをクリックします。

👃 HWSvrのプロパテ	1	×
全般共有	リティ 以前のバージョン カスタマイズ	
	HWSvr	
種類:	ファイル フォルダー	
場所:	C:¥Program Files	
サイズ:	422 MB (443,096,248 / ኘብ ኮ)	
ディスク上のサイズ:	422 MB (443,150,336 /ናኅト)	
内容:	ファイル数: 35、フォルダー数: 6	
作成日時:	2011年2月3日、11:04:03	
属性:	読み取り専用 (フォルダー内のファイルのみ)( <u>B)</u>	
	隠しファイル(出) 詳細設定(D)	
L	OK キャンセル 適用	( <u>A</u> )

手順4)『詳細な共有』をクリックします。

🐌 אשאיז פון איז
全般 共有 セキュリティ 以前のバージョン カスタマイズ
ネットワークのファイルとフォルダーの共有
HWSvr 共有されていません
ネットワーク パス( <u>N)</u> : 共有されていません
共有( <u>S</u> )
詳細な共有 カスタムのアクセス許可を設定したり、複数の共有を作成したり、その他の詳 編な共有のオプションを設定したりできます。
1 19 詳細な共有(D)
OK キャンセル 適用( <u>A</u> )

手順5)『このフォルダーを共有する』をチェックします。 「共有名]は『HWSvr』と設定して、『アクセス許可』をクリックします。

詳細な共有		×
▼ 1.0.7#11/2		
設走 共有名( <u>H</u> ):		
HWSvr		
這加(A) 肖明除(R)		
同時に共有できるユーザー数(L):	20	<b>÷</b>
こととて()		
アクセス計可(P) キャッシュ(C)		
OK キャンセル (	適用	A

手順6)アクセスを許可するユーザーをフルコントロールにします。

※ ユーザー名が不明な場合は、『追加』ボタンをクリックして、Everyone を追加して下さい。

		-					
1	HWS∨r	のアクセ	マス許可				×
ļ	も有アクセ	ス許可					
	グループネ	らまたはユ	ーザー名( <u>G</u> ):				
	🚨 Ever	ryone					
					追加(D)	)除( <u>R</u> )	
	Everyone	のアクセ	ス許可( <u>P</u> )		許可	拒否	_
	フルゴ	ントロール					
	夏史   読み取	71)			<ul> <li>✓</li> <li>✓</li> </ul>		
	アクセス制	御とアク	セス許可の詳細	を表示しま	<u> </u>		
			ОК		キャンセル	適用()	A)

手順7)すべての画面をOKで終了すれば、共有設定は終了です。

- ・サーバー管理機能フォルダのセキュリティを手動設定します。
- 手順1) [スタート]メニューの[コンピュータ]をクリックします。
- 手順 2) [C:¥Program Files¥HWSvr]フォルダを右クリックしてメニューを表示して、[プロパティ] をクリックします。

(64 ビット版OSの場合は[C:¥Program Files (x86)¥HwSvr]フォルダ)





SSS_Serverのプロパティ				
全般共有したキュ	リティー人前のバージョン「カスタマイズ」			
	SSS_Server			
種类頁:	ファイル フォルダー			
場所:	C¥Program Files			
サイズ:	473 MB (496,690,192 /강귀ト)			
ディスク上のサイズ:	478 MB (496,734,208 /갻イト)			
内容:	ファイル数: 36、フォルダー数: 6			
作成日時:	2011年9月23日、13:06:05	_		
唐性: 画j	読み取り専用(フォルダー内のファイルのみ)(E) 隠しファイルと) 詳細設定(D)			
	OK キャンセル 適用(	<u>A)</u>		

#### 手順4)『編集』をクリックします。



手順5)アクセスを許可するユーザーをフルコントロールにします。

※ ユーザー名が不明な場合は、『追加』ボタンをクリックして、Everyone を追加して下さい。

📙 SSS_Server のアクセス許可		x		
セキュリティ				
   オブジェクト名: C:¥Program Files¥	SSS_Server			
グループ名またはユーザー名(G):				
& Administrators (YSPC101¥Admi	inistrators)			
& Everyone				
& Users (YSPC101¥Users)	=			
& TrustedInstaller				
4				
	追加(D) 削除(R)			
Everyone のアクセス許可(P)	許可 拒否			
דארב ערב ארב		1		
変更				
読み取りと実行				
7ォルダーの内容の一覧表示 🛛 🔽 🗖				
読み取り 🔽 📼 👻				
アクセス制御とアクセス許可の詳細を表示	示します。			
ОК	キャンセル 適用(A)			

手順6)すべての画面をOKで終了すれば、セキュリティ設定は終了です。

- ・ファイルの共有を有効、パスワード保護共有を無効に設定します。
- 手順 1) [スタート]メニューの[コントロールパネル]から[ネットワークとインターネット]をクリック します。



手順2)[ネットワークと共有センター]をクリックします。



手順3) [共有の詳細設定の変更]をクリックします。



手順4) [現在のプロファイル]内の[ファイルとプリンターの共有]を有効にするクリックします。

ペ ネットワークと共有センター、共有の詳細設定     ・ 49     コントロールパネルの検索     ・      ・      ・     ・      ・     ・      ・     ・     ・      ・      ・      ・      ・     ・     ・      ・	
別のネットワーク プロファイル用に共有オプションを変更します	
Windows では、使用するネットワークごとに別々のネットワーク プロファイルが作成されます。各プロフ ァイルに対して、特定のオプションを選択できます。	
ホームまたは社内(現在のプロファイル)	
ネットワーク探索	
ネットワーク探索を有効にすると、このコンピューターは他のネットワーク コンピューターやデ バイスを参照することができ、また他のネットワーク コンピューターからもこのコンピューター を参照することができます。 <u>ネットワーク探索とは?</u>	
<ul> <li>         ・ホットワーク探索を有効にする         ・ホットワーク探索を無効にする         ・ホットワーク探索を無効にする         ・//         ・//         ・//</li></ul>	
ファイルとプリンターの共有	
ファイルとプリンターの共有が有効の場合、このコンピューターで共有しているファイルとプリ ンターは、ネットワーク上のユーザーからアクセス可能になります。	
<ul> <li>ファイルとプリンターの共有を有効にする</li> <li>ファイルとプリンターの共有を無効にする</li> </ul>	
パブリックフォルダーの共有	
パブリック フォルダーの共有が有効な場合、ネットワーク上のユーザー (ホームグループのメン	
※変更の保存 キャンセル	]

手順5) [現在のプロファイル]内の[パスワード保護の共有]を無効にするクリックします。

G ● ペ ペ ネットワークと共有センター → 共有の詳細設定      マ      ダ コントロール パネルの検索	٩
Windows 7 では、128 ビット暗号化を使用してファイル共有の接続が味識されます。 アハイスに よっては 128 ビット暗号化をサポートしないため、40 ビット暗号化または 56 ビット暗号化を使 用する必要があります。	ŕ
<ul> <li>         ● 128 ビット暗号化を使用してファイル共有の接続を保護する(推奨)     </li> <li>         ● 40 ビット暗号化または 56 ビット暗号化を使用するデバイスのためのファイル共有を有効にする     </li> </ul>	
パスワード保護共有	
パスワード保護共有が有効の場合、このコンピューターでユーザー アカウントとパスワードを持 つ人のみが、共有ファイル、このコンピューターに接続しているプリンター、パブリック フォル ダーにアクセスできます。他の人がアクセスできるようにするには、パスワード保護共有を無効 にしてください。	
<ul> <li>○ パスワード保護の共有を有効にする</li> <li>◎ パスワード保護の共有を無効にする</li> </ul>	
ホームグループ接続	
他のホームグループ コンピューターに対する接続は Windows によって管理されるのが普通です が、すべてのコンピューター上に同じユーザー アカウントとパスワードを設定している場合は、 そのアカウントをホームグループで使用することもできます。 <u>ヘルプを表示します</u>	=
◎ Windows でホームグループ接続を管理できるようにする (推奨) ◎ ユーザー アカウントとパスワードを使用して他のコンピューターに接続する	
● 変更の保存 キャンセル	

以上で、ファイル共有を有効、パスワード保護共有を無効に設定されます。

Oサーバー管理機能やクライアント機能を、Windows 7 または 8 、Server 2008、Server 2012 にイン ストールした場合、ファイアウォール機能により、クライアントから ハイウェー for Windows (データベー ス SQLServer)に接続できるように設定する必要があります。

### ■設定方法

Oファイアウォールの設定にて、SQLServerの通信を許可します。 通信を許可するには、以下のポートとプログラムの受信及び送信を許可する必要があります

- ① TCPポート: 1433
- ② UDPポート: 1434
- ③ プログラム : C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server

¥MSSQL10.YSHWDB08¥MSSQL¥Binn¥sqlservr.exe

64 ビット版OSの場合

C:¥Program Files (x86)¥Microsoft SQL Server ¥MSSQL10.YSHWDB08¥MSSQL¥Binn¥sqlservr.exe

以下に、①の受信規則を追加する方法を示しますので、①~③について、受信および送信規則の両方を 追加してください

手順1)[スタート]メニューの[コントロールパネル]から[システムとセキュリティ]をクリックします。



手順2) [Windows ファイアウォール]をクリックします。



手順3) [詳細設定]をクリックします。



手順4) [受信規則]を右クリックして、[新しい規則]をクリックします。



手順5) [ポート]を選択して、次へ進みます。

🔐 新規の受信の規則ウイザー	۴	×
規則の種類		
作成するファイアウォールの規則の	種類を選択してください。	
ステップ:		
● 規則の種類	どの種類の規則を作成しますか?	
<ul> <li>フロトコルおよびポート</li> <li>操作</li> <li>ブロファイル</li> <li>名前</li> </ul>	<ul> <li>プログラムのPI フログラムの接続を制御する規則です。</li> <li>ホートの1 マロ・または、UDP ボートの接続を制御する規則です。</li> <li>事前定義(E): BranchCache - コンテンツ取得(HTTP を使用)</li> <li>Windows エクスペリエンスのために接続を制御する規則です。</li> <li>カスタム(C) カスタムの規則です。</li> </ul>	
	<u>規則の種類の詳細を表示します</u> < 戻る(B)	, ,

手順6) [TCP(T)]を選択、[特定のローカルポート]に1433を入力して、次へ進みます。

②の UDP を追加する場合は、ポート番号は 1434 となります。

🔐 新規の受信の規則ウイザー	۳	×
プロトコルおよびポート		
この規則を適用するプロトコルとポ	ートを指定してください。	
ステップ		
🥌 規則の種類	TCP と UDP のどちらにこの規則を適用しますか?	
<ul> <li>プロトコルおよびポート</li> </ul>		
● 操作	O UDP(U)	
● プロファイル		
◎ 名前	すべてのローカル ボートと特定のローカル ボートのどちらを対象にこの規則を適用するかを選択し てください。	
	🔿 ታላፒውፅ	
•	● 特定のローカル ポート(S): 1433	
	489-96, 443, 5000-5010	
	TTA TO I A TO	
	フロトコルとボートの詳細を表示します	
	< 戻る(B) / 次へ(N) > (キャンセル	

手順7) [接続を許可する]を選択して、次へ進みます。

🔐 新規の受信の規則ウイザー	÷۴	×
操作		
規則で指定された条件を接続が満	<b>誌</b> をす場合に、実行される操作を指定します。	
7		
<ul> <li>         ・ 規則の種類         ・     </li> </ul>	接続が指定の条件に一致した場合に、どの操作を実行しますか?	
<ul> <li>プロトコルおよびボート</li> </ul>		
◎ 操作	● 接続を許可する[A] fr-su-を使用して保護された接続と保護されていない接続の両方を含みます。	
● プロファイル	◎ ヤをっリティで保護されている場合のみ接続を許可する((*)	
● 名前	IPsecを使用して認証された接続のみを含みます。接続は、IPsecプロパティ内の設定と接続 わたっしティ相則ノード内の規則を使用して、わたっしティ保護されます。	
	カスタマイズ( <u>Z</u> )	
	◎ 接続をブロックする(K)	
	操作の詳細を表示します	
	〈 同ろ( R) 、 ケヘ( N) 〉 また、 セル	

手順8)	すハ	ヾてチェック	を入れた状態で、	次へ進みます。
------	----	--------	----------	---------

🔐 新規の受信の規則ウイザ・	<del>،</del> ۲	×
<b>プロファイル</b> この規則が適用されるプロファイル	を指定してください。	
<ul> <li>ステッナ:</li> <li>規則の種類</li> <li>ブロトコルおよびボート</li> <li>操作</li> <li>ブロファイル</li> <li>名前</li> </ul>	この規則はいつ適用しますか? アトメイン(D) コンピューターがその企業ドメインに指続しているときに適用されます。 フライベート(P) コンピューターがプライベートネットワークの場所に接続しているときに適用されます。 アノブリック(U) コンピューターがパブリックネットワークの場所に接続しているときに適用されます。	
	<u>プロファイルの詳細を表示します</u> ( く 戻る(B) ) 、	Ŀ

手順9) 規則に名前をつけて、次へ進みます。 名前は任意です。例) SQLServer TCP 1433 など

- ※現の啓信の規則ウノザード		
名刖		
この規則の名前と説明を指定してくたさい。		
ステップ		
● 規則の種類		
● ブロトコルおよびポート		
● 操作		
<ul> <li>プロファイル</li> </ul>	名前(N):	
<ul> <li>名前</li> </ul>	SQLServer TCP 1433	
	説明 (オプション)(D):	
	〈戻る(B) 完了(F) キャンセンション (F) キャンセンション (F) キャンセンション (F) キャンセンション (F)	216

以上で①の受信規則が追加されました。

同様の処理で、①~③について、受信及び送信規則を追加してください。

※ セキュリティソフトがファイアウォール機能を持っている場合は、クライアントからハイウェー for Windows で接続しようとすると、サーバー側で『接続を許可しますか?』などとメッセー ジが表示される場合があります。その時は『常に許可をする』設定にする事でクライアントから の接続が可能になります。

セキュリティソフトが自動的にブロックしている場合もありますので、その時は、セキュリティ ソフトの設定にて、①~③のブロックを解除してください。

セキュリティソフトの設定については、セキュリティソフトの説明書をご覧頂くか、セキュリティソフトのメーカー様にお問い合わせいただくようお願い致します。

○ 遠隔地の営業所のPCと接続するような VPN 環境で使用する場合は、各拠点のルーターのポート開放 (TCP1433 UDP1434)を行ってください。

ルーターのポート開放については、各ルーターの説明書をご覧頂くか、ルーターのメーカー様にお問い合わ せお願いします。

O DNS がない(ネットワークで他のコンピュータを参照した時に、コンピュータ名ではなくIPアドレス 表示となる)場合、システムを起動すると『データベースへの接続に失敗しました。』とエラーが表示さ れます。

クライアントプログラムのインストールフォルダ内の YSSvrInfo.ini をメモ帳などで開きます。 インストールフォルダは通常 C:¥Program Files¥Highway、64bitOS の場合は、 C:¥Program Files(x86)¥Highway)

ServerName と SvrDir のコンピュータ名の箇所を、サーバー管理機能をインストールしたコンピュ ータの I P に変更して、上書き保存します。

下記は、サーバー | Pが 192.168.1.10 の場合の例

▶️ YSSvrInfolini - メモ帳	_ 🗆 🗵
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)	
[System]	<b>A</b>
ServerName=192.168.1.10	
SvrDir=¥¥ <mark>192.168.1.10</mark> ¥HWSvr¥	
•	• //

- ver 5 の LAN 対応版からのバージョンアップの場合、給与計算の勤務データ変換対応表の設定が引き 継げません。対応表の設定を行ってください。
  - 1. [給与計算] [勤務データ変換] の左下[対応表設定]ボタンをクリックします。

WINDOWS		
• 動務データ変換		×
データ変換条件		
		(花業昌名)
開始	~ > >>	
松丁 公業品約回 & 山村	一個	
● 従業員コード	○ フリガナ	
給与		
対象月	月度	
#日 <b></b>	_	
文行日		
「宮巣・動泡」、「~ター 対象期間	~	
端数処理		
◎ 四捨五入 ○ 切り	り上げ ○切り捨て	
[対応表設定(T)]	実行( <u>G</u> )	++>th (1)7°( <u>H</u> )
「営業・勤怠/給与項目対応表を設	 設定します。	

# 2. ver5 での設定と同じ内容を設定して登録します。

営業・勤怠/給与項	1月対応	表						×
営業・勤怠項	目							
運収合計	•		営業・勤怠項目	勤務区分		範囲	給与計算勤怠項目	
割引後額	_			全て	•	-	義務日数	
燃料消費量			出勤日数	全て	•	-	出勤日数	
オイル消費重   捻働ロ			欠勤日数	全て	•	-	欠勤日数	
13 10 日 招知回数		->	実働時間	全て	•	-	普通残業	
	-		深夜残業	全て	-	-	深夜残業	
			遅早時間	<u>全て</u>	-	-	遅早時間	
均由時間		<-1	税抜合計金額	 全て	-	-	売上金額	
休憩時間	L	<u> </u>		<u>一</u> 全て	-	•	有給日数	
実働時間			1	<u></u> 全7	-	-		
残業時間				<u>エ</u> こ 全7	-			-11
深夜残美 				<u>포 및</u> 수7	-			-11
建辛亏 [1] 欠勤日数					-	-		-11
アル普通					-	-	アル時间	41
アル深夜				王(	•	•	アル決役	
出勤日数	•			)王(  王(	•	•		
						- ( - 1	1	
					登録	₹( <u>S</u> )		D
					_			

